



転石入口バス停から転石水源地向かう道を南に登ると、水源の久保仁田川の支流で二またに分かれ、右へのダム道は川を渡ります。よく見ると、その橋と並んで、もう一つの橋が架かっています。今は田んぼに突き当たり、交通の役に立っていないこの橋は、転石水源が海軍の手で建設された大正十二（一九二二）年、ダムの建設資材を運ぶために架けられた石橋なのです。

「上水道」と呼ぶにふさわしい施設になるのは、明治四十一（一九〇八）年三月の山の田水源地で、浄水場も備えていました。設計・監督をしたのは明治三十二年、佐世保鎮守府技師として着任した吉村長策氏。「日本水道の父」として知られています。転石水源はこれに次ぎ、貯水量二万三三〇〇〇m³。昭和二年に植えられた数百本の八重桜はその後、佐世保名所になりました。

地元の藤田満義さん（七十歳）は、昭和四十八年に八十六歳で亡くなった祖父三十郎さんから「石橋は水源地の工事が始まったときに架けられた」と聞かされました。急傾斜地を流れる谷川は、深い部分が五層もあり、それまでの、人が渡る板橋だと工事用資材を運べなかったのです。現在は上部をアスファルト舗装し、手すりも鉄パイプに替えられています。雑草の合い間か

ら丸いアーチ型に組まれた長さ八メートルの橋梁が見えます。海軍は、鎮守府開庁時の明治二十二（一八八九）年から用水の確保に苦心し、赤崎の屋敷谷、将冠岳の郭公敷湧水、東彼杵の千綿川、西彼杵郡七ツ釜の伊佐ノ浦川取水を経て、明治三十三年に旧皆瀬村十文野免の岡本水源（二池合計・貯水量二万五八〇〇m³）でやや本格的な貯水池式の水源となりました。

歴史散歩 第537回

ダム建設時の石橋・小舟町

撮影・文・筒井隆義

情報クリップ



佐世保から全国、世界へ！

今春、佐世保からたくさんの選手が全国大会、世界大会へ挑みます！
2月15日から3月1日までに市役所に出場報告などに訪れた元気な選手たちをご紹介します。



- 「日本小学生国際親善ソフトボール大会」（オーストラリア）に日本代表選手として出場する左から内川元君、橋本健太郎君、川頭有真君（いずれも大野小6年）、吉住夏妃さん（小佐世保小6年）。
 - 「第3回春季全日本小学生男子・女子ソフトボール大会」（男子は神奈川県、女子は熊本県開催）に本県代表として出場するIOH（オー）フレンズと「佐世保99ERS（ナインティナイナーズ）」の選手の皆さん。
 - スズキワールドカップ世界選手権に日本代表として出場する久田邑さん（山澄中2年、前列右）と、昨年、エアロビクスの全国大会で優秀な成績を収めた川頭美咲さん（佐世保商業1年、後列右）、山崎みつ子さん（大野中3年、後列左）、山崎あさひさん（春日小4年、前列左）
 - アマチュアゴルフの全国大会で2位になり、「ハワイステート・ストロークプレイ2010 チャンピオンシップ国際大会」に出場する藤井勇さん（長崎国際大学国際観光学科3年）。
- ※学年等はすべて3月1日現在。



SASEBO

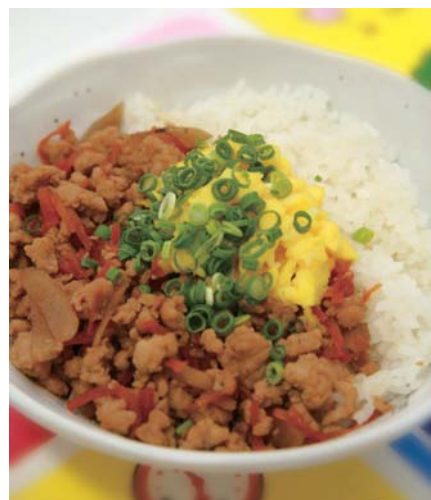
編集後記

江迎に平戸藩主の宿舎「本陣」が現存し、昭和初期まで旧平戸藩主が実際に休憩所として使用していたこと。江迎川（写真中央）が鹿町との町境であること。鹿町が全国有数のトラフグ養殖地であることなど…。今回の特集を作成するため、両町のことを取材してみると、佐世保と隣町なのに知らない事がたくさんあり、新たなことを知るたびに、驚きと感動を覚えました。まちの魅力を「知る」「見る」「感じる」ことで、合併地域がより身近に感じられると思います。皆さんもぜひ両地域を訪れて体感してみてください。（Y）



元気な朝ごはんレシピ 元気100倍丼

ヘルシークッキングコンテスト 一般部門 優秀賞



短時間でできます！
家にあるもので
簡単にできます！
栄養盛りだくさん！

●考えていただいた人
豊島紗耶さん（佐世保北高校1年・当時）

●1人分の栄養価 熱量566kcal、たんぱく質24.9g、脂質14.4g、塩分2.6g

- 材料・4人分
- ごはん 600g
 - 鶏ひき肉 300g
 - ショウガ 1片（みじん切り）
 - ごま油 小さじ2
 - ゴボウ 2/3本（ささがき）
 - ニンジン 1本（せん切り）
 - 砂糖 大さじ3
 - 酒 大さじ2
 - しょうゆ 大さじ3.5
 - みりん 大さじ1
 - 卵 2個
 - サラダ油 大さじ1

作り方

- 野菜を切っておく。
- フライパンにごま油を入れ、ショウガと鶏ひき肉をいため、色が変わりぼろぼろになったら、ニンジン、ゴボウを加え中火で3分いためる。
- ②に砂糖を加え、なじんだら酒、みりん、しょうゆを回しかけて汁気がなくなるまでいためる。
- フライパンにサラダ油を入れ、溶き卵を加えていり卵を作る。
- 熱々のご飯に③を乗せ、その上に④を乗せたら完成。

市長と意見交換しませんか！ 第11回「元気なまちづくりじげもんトーク」参加者募集

市長と市民の皆さんが直接、意見交換をする「元気なまちづくりじげもんトーク」も11回目を迎えます。
「市民第一主義」の考えから「市民の皆さんとともに、元気で活力ある『ひと』づくりと『まち』づくり」のために、これまで市民の皆さんと意見交換をしてきました。
次はあなたのご意見をお聞かせください。

と き 4月23日（金）12時～13時30分
ところ 市役所5階・副市長応接室

対 象 市内在住者6人程度
内 容 「佐世保の農業の未来について」をテーマに、昼食を取りながら市長と意見交換
応募方法 応募用紙に必要事項を明記し、郵送（〒857-8585・住所不要）、ファクス（25-2184）、Eメール（hishok@city.sasebo.lg.jp）で秘書課へ
締め切り 4月15日（木）必着 ※詳しくはお尋ねを。

問 秘書課 ☎24-1111